

99.99% 純度の見方

ものの見方捉え方で、99.99%(フォーナイン)と云われてピン！と来るのが純金表示。純度が上がる毎に、ファイブナイン・シックスナイン・ナインナインとなり、半導体加工に使われるフッ化水素は、なんとトウエルブナインだそうだ。これほどの純度のあるフッ化水素は、日本の独壇場で世界生産の90%のシェアを占めているそうだ。驚愕の数字！



こんな貴重な製品を、横流しで利ざやを稼ぐ材料に使うような国を、ホワイト国にしておいたこと事態が、とんでもない事であって、厳密な輸出審査基準を適用して当然だが執拗に撤回を訴えている。

純度の高い商品は、それなりに貴重なものであり、希少でもあり高価でもある。

勤の鋭い読者諸兄は、次に100%純粋ローヤルゼリーの話が出てくるんだろう？と勤ぐって居られるかも知れませんが、残念！外れです。(その話は七人の侍Projectでじっくりとします)

99.99%と云うと、つついその物の純度に頭が働いてしまいがちですが、ここで云いたいのは人の知識度の事です。認知度と云っても良いかも知れませんが、棺箱に片足が掛り始めて来ると認知度も落ちて来るのも当然ですが、認知症や痴呆症に掛る前に認識しておく必要があるからメインテーマに挙げたのです。



懸命な読者諸兄は、幅広い知識と経験を積まれて来られた事に関しては、疑う余地のない処ではありますが、全ての分野を100とした場合、99.99%知らないと言う事にお気づきでしょうか。知識人だとか、専門家と自称する人の殆どは、その分野に関して素人(一般人)より幾分か良く知っている程度で、その分野以外の殆どは、知らないか一般常識すら心得ない人も少なくない。



子日く、
巧言令色、
鮮し仁。

何を云わんとしているのかと云えば、誰でもが殆ど何も知らないままに過ごしていると言う事です。何も知らなくても、「お・し・え・て・♡うっふーん♡」と云えば、下心満載のヒヒ爺たちは、「よっしゃ！よっしゃ」と教えたがり、高名・無名に関わり無くトラップに掛って、人生を棒に振っている。おっと！話が全然違った方向に行きそうなので、戻します。

99.99%知らないという事は、知っている事は0.01%しかないと言うことになります。それでも、全ての事象からすれば、かなり多く知っている(多分野に渡って幅広い知識を持った人の)部類に入り、そういう人の話は、一元的でなく多元的・包括的な話をされるので、聞いていて得心の行くところが多く、面白い。私は薄識・口下手だから、もっぱら物書きに徹して、文章で表現するしかない。時折感想に『相変わらずの健筆…』などと、おだてられ、こそばゆい気になったりもしますが、逆に『巧言令色少なし仁』(論語)を思い出しては、より磨きをかけねばと思ひ至っています。

前にもお話ししましたが、日本人なら日本のことを何でも知っているかと云えば、知っている事は学校で習ったことや、行った事のあるところ、本や人から聞いた話や、食べたり呑んだりして覚えた味などで、例えば、隣町や市内の事なども殆ど知らないし、市外や近隣の事などほとんど知らない。自分のルーツを辿って見ようと思っても、せいぜい4~5代前までしか辿れない。

知るべきか、知らなくてもいいものかは別にしても、知らない事の方が、知っている事より遥かに多いことに気づければ、99.99%処か、トウエルブナインくらい知らないかも知れない。そこで道元禅師の説かれた「不思議底を思量せよ…それが禅」に繋り、幾つになっても知的好奇心は衰えないものであると納得されれば、明日トウエルブナイン分の1くらい知識を、身につけようとする目標も出来て来るというものです。

そう云われても、最近とみにボケが進んで来て、という方には脳構造を再検討してみましょう。
<http://bsi.riken.jp/jp/youth/know/structure.html> 脳に関する基礎知識



左図の99.99%グラマラスなタイ人美女！と思いきや、オカマちゃん！徴兵検査で不合格になって、兵役に就かず済んで、喜んで通知書を見せている写真です。くじ引きで当たった人と、志願して来た人は兵役に就くとの事ですが、オカマちゃん、男性器を除去しても、戸籍上は男性となっているので、徴兵検査は受けなければならないようです。

https://www.youtube.com/watch?v=cU_r0sk-0Kw

徴兵検査風景

ダイ・ダイ・ダイ！

1回云えば済む処を、タイ人は3回繰り返して云うのが習慣みたいで、「…良いですか？」「…できますか？」と聞くと、「良いヨ！」「出来ますヨ」で済まず、「できる！できる！できる！」おまけに、「マイペンライ！」まで付いて来る事まである。3回目のダイが、ダーイ！となると、反って『本当かヨ？』『大丈夫かナ？』と心配にすらなる。

前号(114号)の、なせばなる…。の話の続きではありませんが、何事に於いても大切なのが、為すか、為さぬかが決め手であって、為さねば何事もならないと云う、実に当り前の話です。思っている、中々口に出して云えないとか、行動にまで移せないという引っ込み思案な性格を日本人の個人から政界の多くが持ち合わせていて、慮り(おもんばかり)が忖度のし過ぎになり、国民個々の利益や国家の利益など、数知れないほどの機会を損失して来た。

だったら、何でもかんでも遣れば良いのかといえ、世の中そうは簡単ではない。遣らないという決断を下すことも、為す事だと知って、機会を捉える機知が必要であり、責務でもある。タイ政府は緊急事態宣言を4月末から5月・6月・7月更に8月末まで延長し、しっかり感染拡大を押えて来た。9月に解除されても、汚染国(日本他)からの入国チェックは厳しく実施するとの事で、二次感染拡大中に『GoToキャンペーン』など打ち出すバカ政府などはレベルが違う。日本の政府・政権は、完璧にマイペンライ政府に成り下がっている。そうでない国民ははっきりと「No!」を示さなければいけない。是々非々で判断し、今は(ヒヒ)爺・婆に徹するしかない。



(ヒヒ)爺・婆なら、改めて徹することも無く、地のままで行けば良いという人は、徹底的に政府・政権に対して「No! No! No!」の声を上げると共に、世論を形成する拡散をお願いしたい。

ものごとを成り行きに任せていて、現在が形成されているとしたら、成り行きに任せていては少しも良くならないばかりか、事態は益々悪化すると云う事が、今回のウイルス騒動で証明された。政府・政権による『不作為の罪』は重い。不評を買ったアベノマスクも、10万枚以上が官邸に返品されたという報道もあった。(首相以外の閣僚はアベノマスクを着用していない)にも拘らず、誰が提灯持ちをやっているのか知らないが、性懲りも無く再度配布するという。前回の6000万枚の配布が終わり、更に8000万枚を配布する予定が、野党はじめ世論の反発を食らって配布を遅らせるとの事だ。やるのやらないの、配るの配らないの、迷走劇は少しも面白くない。2回分の費用は500億円を超えるが、入札発注ではなく随意契約発注との事だ。

混乱に乗じてと云うか、影でコソコソやっているのか、『特段の事情』とやらで入国させている外国人からも感染者が見つかったのに、あえて国籍は申告させず従って発表されない。現場対応をしている職員には何の権限も無いから、「分からない」としか応えようがない。

防疫の観点を無視した入国管理が実際に行われているから、「『特段の事情』を巧く工作すれば日本への入国はチョロイもんだ」と、しっかり舐められているとしか思えない。それを手助けしているのが権限を持っている反日政治家であり、それに追従する官僚だ。政治家は選挙で落選すれば、タダの人に戻るが、官僚は政治家の指示で肅々と義務を果たし権限を行使しているだけだと開き直って(保身に徹して)、決して責任は取らない。



アベノマスクにしても、特段の事情入国にしても、国民の生命財産を守る事より、国民の知る事のできない場所で利権を行使して、自分の出世と天下り先を優先している実態が、ネットの普及によって暴露されて来ている。反日以前に反国民(国民を裏切る)行為を認識しよう。



近隣の反日国は経済制裁や輸出規制が効いていて、破綻寸前に追い込まれていて、キ印の度合いも、常軌を逸してエスカレートしていることも日本国内で周知されて来ている。

中国と中国共産党とを同一視するのも間違いだし、中国共産党内が一枚岩でない事も周知の事実だ。やっとの事で、米国が中国共産党に良いように利用され、騙されて来た事に気付く反撃に出たのが貿易戦争から、経済戦争に拡大し、冷戦構造にまでエスカレートしそうだ。

日本では、親中派は、親中共派と呼ばない処にゴマカシがある。中国共産党が大嫌いという中国人民は共産黨員より多い。共産党にとって最も恐るべき相手は、米国でも他国でもなく、中国人民だという事は覚えておく必要がある。ウイルスの後には大洪水・食糧難・経済破綻・党内分裂等々、何でもできる核心様も逃げ回っている。

専門家だの知識人だのと偉そうに登場しては、トンチンカンで的外れの結果については、弁明すらなく、コソコソと姿をくらまして。政府がかき集めた専門家会議で実を挙げたものがあるだろうか？武漢ウイルスの一次感染者より二次感染者の数が倍近く広がる事を予測し、注意喚起した専門家は皆無だった。本当の専門家(ウイルスの遺伝子組み換えをしていた人)の話聞いてみよう。今後暴露されるであろう事実をしっかりと受け止めたい。



…たら、…れば ではない。

宝くじが当たたら…とか、年金以外の安定的収入があれば…とか、希望的・願望的・夢のような話をしても、誰もが『タラ・レバは在り得ない』と最初から決め付けて、諦めたり、後悔したりする材料に使われて来た。確かに、宝くじを何枚買ってもなかなか当たらないし、仕事をしなければ収入は得られない。逆転の発想で、タラ・レバを一掃しよう。

発明・発見・起業の原点は、タラ・レバではないか？ 何度も失敗や挫折を繰り返しながら、漸く辿り着いた結果、たまたまの偶然も相まって、新発明・新発見・新規事業が出来上がっている。結果が出てから、タラ・レバを論議するから、ネガティブ議論・発想しか生まれて来ない。宝くじは、買っても中々当たらないけれども、買わなければ決して当ることはない。運試し、夢を買うくらいの気持ちで買い続けていれば、いつか当たるかも知れない。そう思って、月に2回売り出される国営宝くじを(神仏頼みをしながら)買い続けているタイ人は少なくないし、大人気だ。

年金収入は、年金受給者となって始めて、現職時代の手取り収入の半分以下、1/3以下では悠々自適どころではない事に気づく。たいした蓄えもなければ、直ぐに底をついて不安になる。

経済的な豊かさを実感したいならば、物価の高い日本に居ては何時までたっても得られない。だからと云って、安易に物価の安い国に移住することも軽率のそりを免れない。参考までにタイの生活レベル・物価・貨幣価値感覚を以下の動画でご覧下さい。

<https://www.youtube.com/watch?v=krWVVNs7IAA>

タイでぼったくりにあわないための考え方

<https://www.youtube.com/watch?v=E7raeDyAflU>

タイ移住したら1か月いくら必要??

<https://www.youtube.com/watch?v=xekQ45utfIE>

バンコクモーターショー



TOYOTA

トヨタやパナソニックは、中国に軸足を置いて、脱日本を標榜している。両社共にそれぞれの思惑あつてのことだろうから、外部の人間には真相は分からない。今の日本の有様からすれば、日本国内への回帰より、リスクをとっても中国の方が魅力的なのかも知れない。しかし、創業者や先代の起業精神、経営哲学からすれば、褒められた選択かどうかは疑問だ。

Panasonic

かれこれ半世紀も前の話ですが、新聞広告全5段を使ってソニーが求人広告を出し、そこに『適材は適所を選ぶ』と云うキャッチコピーだけ真ん中に大きく載り、社名・住所電話番号は、下段に小さく表記されているものでした。電通か博報堂のコピーライターのコピーかとはばかり思っていました。実はソニーの創業者故盛田昭夫氏の経営哲学だったと後から知りました。

SONY

端的なキャッチコピーですが、新鮮な驚きを覚えた記憶があります。果たして自分は適材なのか、適所にいるのか、忖度と時間を費やして仕事を遣っている振りをしているだけではないか、自戒すると共に、一心不乱に情熱を傾ける仕事に取り組むには、適材になり適所を選ばなければ生き甲斐が感じられないだろうと示唆された思いです。

ソニー全盛時代、ウォークマンを世界に広めた盛田氏のメッセージをご覧ください。

<https://www.nikkei.com/video/6053345151001/>

ソニー創業者 盛田昭夫氏メッセージ

知る人ぞ知る、もう一人の創業者の話も是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=JBgSMxRlPIQ>

ソニーを創ったもう一人の男-1



岩間和夫 氏

失われた20年・30年と云われて久しい中、失われたものは経済だけではないような気がする。夢も希望も萎縮してしまい、『今だけ金だけ自分だけ』の空気が蔓延し、リスクをとっても挑戦する気概さえも失って来た20年・30年だったのではないだろうか。その頂点が現在だと思う。

Japan as No1を創って来た先人達は、『…たら、…れば、』の捉え方を、後悔の言い訳に使うのではなく、『…をこうしたら、…をこうすれば、』という発想に転換して、果敢に挑戦した結果、失敗から学び、成功から次のチャレンジに向かい、けん引役を担って来られたものだと思う。



成功パターンは見えている。1つの成功を導くために、10の失敗を恐れず夢と希望を胸に抱きながら果敢に挑戦するしかない。夢や希望という目標や目的を、具体的な、何のためにという像が描かれなければ、何となくそうなったら良いので終わってしまい、実現は遠退いてしまう。

財政が、高齢者福祉が、老人医療が、年金が、破綻してしまうから消費増税をせざるを得ないと云うまやかしと、囁きに乗って、国民を不幸のどん底に導いているのが現政権だから、成功のパターンと真逆のことを遣っている事がお分かり頂けるだろう。国民に夢や希望を持たせる具体的な施策でないからだ。ネガティブトークからポジティブアクションは生まれて来ない。



信頼できる経済ジャーナリストの一人として、常々高評価している田村秀男氏の話は、実に当たり前(常識的)な話ですが、非常識な政府・政権にできない事が、日本国民の不幸だと云う事です。以下の動画をご覧ください、…たら、…れば、ではなく、さっさとやれと云って下さい。

<https://www.youtube.com/watch?v=JbPAujzLdQw>

経済ひとりがたり田村秀男#21

<https://www.youtube.com/watch?v=VGZ7gk3qCvU>

経済ひとりがたり田村秀男#22

話半分・遊び半分の実践

増税して税収増を計るというのは、算数レベル。減税して税収増を図ってこそ数学のレベル。東大法科を優秀な成績で卒業し、財務省に入った官僚が、算数レベルだから、20年経ってもGDPが1%しか伸びていない。デフレにしたのも、脱却できないのも、すべからず算数レベルで考え対処しているからに他ならない。国民は、数学脳で、

前章末尾の「さっさとやれ！」と云っていただく先は、政府・政権に対してですが、YouTubeのニュースや保守系チャンネルのコメントに投稿する手もありますから、忌憚のない意見を投稿して下さい。どこの国の政府も、政治家も権勢を誇示しながらも、世論の声には敏感に反応し、ビクついている面があります。もっとも強力なものは、事実認識と常識的正論です。



嘘八百を吐きまくり、約束を反故にし、隠蔽し、虚偽報道に明け暮れる近隣反日国の、明るい未来は皆無だということくらい誰の目にも明らかなのに、平和ボケして脇の甘い日本人には、甘美な誘惑(トラップの呪縛)が効果靦面で、嵌まり易い事を熟知している、反日国人の手にまんまと引っ掛かって身包み剥がされ(中には自殺まで余儀なくされ)ている。先日のソウル市長の自殺事件に関しても、他殺の嫌疑が濃厚なようだ。法医解剖もせずに、さっさと茶毘に付してしまったという。中国政府の発表する数字の殆どは作られたものであって中国人民ですら信用していないと云う。現在進行中の大洪水で、田畑や家畜までもが押し流され、冠水して大変な飢饉を迎えようとしている時に、政府発表は今年は大豊作だとの事だ。中国の実情と、中国人と中国共産党員の見方に関して以下の動画をご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=XxlwA3_ea34

大紀元ニュース-1

<https://www.youtube.com/watch?v=s3o4lvKuDEo>

大紀元ニュース-2



中共党内分裂？！



話半分処か、何十倍・何百倍ものネガティブニュースは隠蔽され、隠し切れなくなったら逆切れして、人や他国のせいにするというのが定番で、分かり易いといえばそうだが、予め「息を吐くように嘘を吐く」「嘘がバレても謝らない」「人格よりも面子を重んじる」子供の頃より、先祖代々これで通してきた国を、どうやって信用などできるのか？親韓・親中・親北の国会議員は、同じ穴の貉(同属)と看做して、選挙時には落選運動に協力するしかないだろう。国家ぐるみで恫喝したり、口汚く罵ったりする、品格の微塵も無い国と付き合いする必要もない。

数学に『集合論』があるが、同じ穴の貉という集合と、それ以外の取り巻き(空集合)があって、明らかに空集合の方が集合より大きい(多い)。分かり易く云えば、中国の人口は14億人と云われていて、その内中国共産党員(富裕層と云われている人)は1億人とも云われている。1億人が集合で、貧困層を形成している13億人が空集合だと云う事です。日本では4000万人近い高齢者(集合)を6000万人の労働生産人口(空集合)が支えているという事でもあります。

如何に労働生産性(取り敢えず月収)が低い(6億人の中国人の月収1万5千円)と言えども、13億人が1億人を支えている(生かさず殺さず、搾取し続けている)。のと、3人の労働人口に対して2人の高齢者を支えなければならない日本とでは、実情は相い通じない。日本の若者は、親でさえも面倒見切れぬほどの経済的・重税負担を強いられている。ましてや見知らぬ他人であるクソ爺・婆の面倒まで見たくもないと思うのも当然だ。しかし、不満をぶつける先は細々と年金暮らしをしている爺・婆よりも、貰い過ぎの給与や年俸をお手盛りしている、天下り元官僚や財界人だ。(詳細は8月4日のDHC虎ノ門ニュース/火曜特集をご覧ください)年金制度を維持しなければならない建前から、「社会福祉予算を捻出させるため」と云う大嘘を国民に訴え、消費増税の根拠としているが、年金などの福祉予算を消費税(付加価値税)で賄っている国はない。財務省の詭弁で、法人税減税分の相殺資源だ(高橋洋一氏談)から、天下り先の受け皿である経済界が、消費増税を後押ししている搾取の確信犯との事だ。

搾取の3つの方法

- ・盗み取る(窃盗)
- ・だまし取る(詐欺)
- ・おどし取る(脅迫)



止まらない武漢ウイルスの二次感染の中、日本政府は、一次感染が収まったかに見えた5月23日の段階で安易に緊急事態宣言を解除し、一回ぼっきりの特別給付金なるものをバラマキ経済活動再開という名目で、夜の街まで開放した途端、周知の通りの爆発的感染拡大。近く中国・韓国の国際便を再開するようだが、タイでは8月一杯まで緊急事態宣言を解除しないし、観光立国でありながら、観光客も入国させない慎重さだ。国民の健康と命をどちらの国の方が大切に考え行動しているのかが明白だ。はっきり言って遊び半分で国民の命を弄んでいる。

これから本格化する世界恐慌に対する対策は、とてもじゃないが日本政府の方針など当てにできない。10年間で1%しかGDPを伸ばせない財務省の政策では、世界恐慌に立ち向かう事自体無理というものだ。年金・収入・売上3倍増計画(10カ年計画)を個人レベルで実践しようという、七人の侍Project参加者に期待したい。

タイ人ユーチューバーのプーン(みつばち)ちゃんの動画が面白いので、ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=4aRI3sF4jfk>

Youは何しに日本へ？

<https://www.youtube.com/watch?v=UZiEm08V0Ss>

タイ人が語る『日本国と日本人』

<https://www.youtube.com/watch?v=mV9nzhhR7Kg>

タイでモテル人はこんな人！

